

広島市植物公園 見どころ案内

2023年10月10日
通巻第598号

今週の
見どころ案内
掲載植物
現場にはこの表示
がしてあります。

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (9/23~10/19)
ボタニカルアート作品展
- ◇展示資料館 ロビー (10月中旬まで)
牧野富太郎博士のパネル展示
- ◇展示温室 (10/7~10/22)
サボテン・多肉植物展
- ◇展外展示場 (10/14~10/19)
秋の山野草展

ハートカズラ (キョウチクトウ科)

可愛いハート型の葉は観葉植物として人気です。**花の形もユニーク**で一見の価値あり。

フィリセイヨウダンチク (イネ科)

暖地の海岸近くに生育する大型のイネ科植物、ダンチクの斑入品種です。その大きさに注目ください。

青花の野生ラン

デンドロビウム ビクトリア
エアレギナエや
デンドロビウム
リュウコシア
ヌムなど、魅
惑的な青花の
ランが開花中。

スィフヨウ

(アオイ科)

時間とともに花色が
変わる様を酔客の顔色
になぞらえて名付けら
れました。1つの花の
中に異なる花色がみら
れることもあります。

★大温室で見頃の花

(シマ)サンゴアナナス、グズマニア、
アンズリウム、イソクラ、フウリンブ
ッソウゲ、ティコリスサンドラ、洋ラン
各種、ムッサエンダ、ヘリコニア、果
実[パパイヤ、バナナ、ココヤシ]

キバナコスモス (キク科)

病害虫に強く、花期も長いので人気です。**この淡い黄色の花は当園の選抜種**。

ハナセンナ (マメ科)

黄色の可憐な花を咲かせます。ブラジル・アルゼンチンが原産で、別名は**アンデスの乙女**。

フジバカマ (キク科)

秋の七草の一つ。奈良時代に中国大陸から帰化したといわれており、アサギマダラが吸蜜に訪れています。

ヒマラヤヤマボウシ

(ミズキ科)

ヒマラヤ周辺原産のヤマボウシの仲間。常緑で、この株は、**初夏と初秋の二季咲きます**。

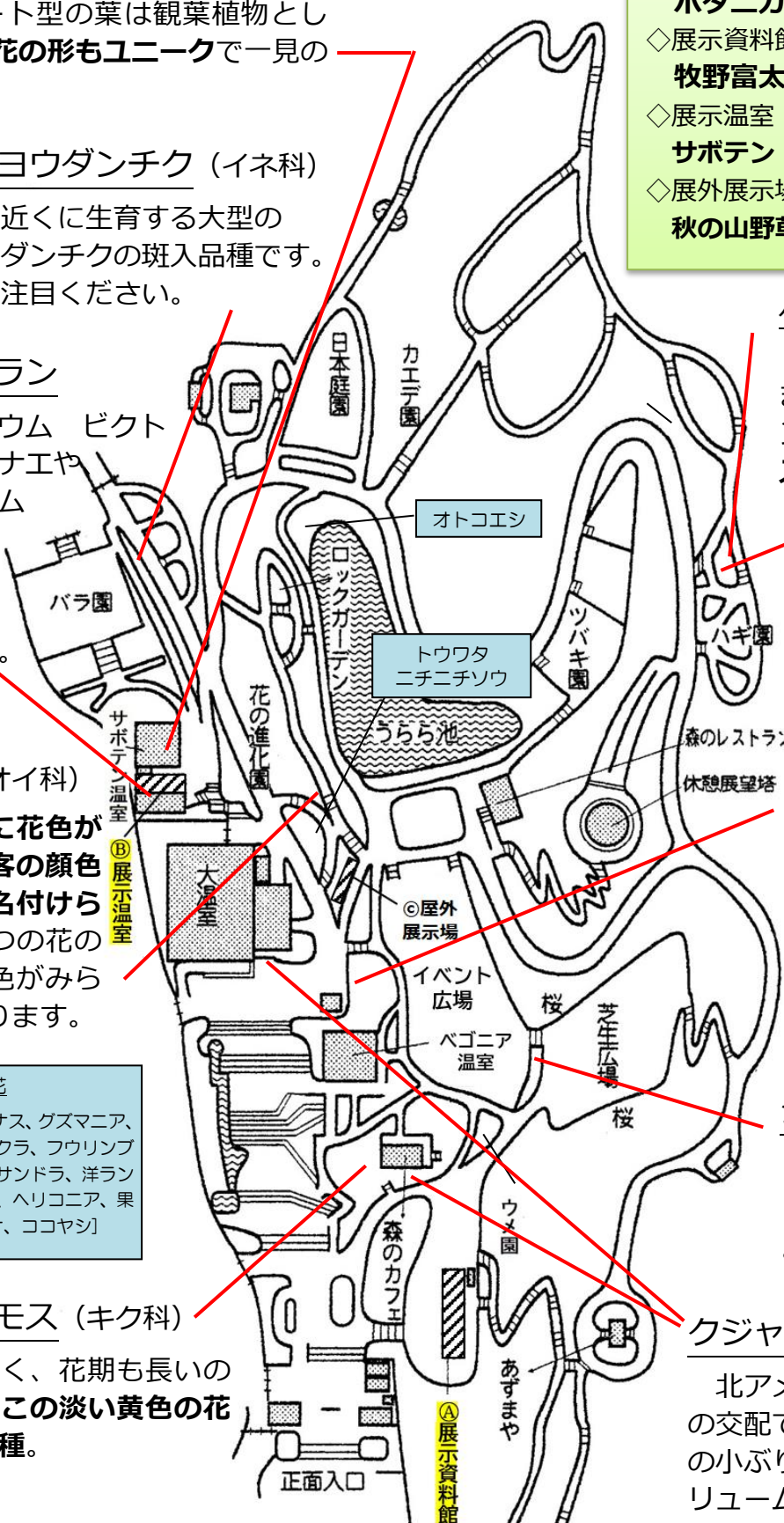
ジュウガツザクラ

(バラ科)

春だけでなく**秋にも咲く珍しい八重のサクラ**。

クジャクアスター (キク科)

北アメリカ原産の宿根アスターの交配で生まれた園芸品種。紫色の小ぶりな花が集まって咲き、ボリュームがあるので人気です。



❀ 毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します ❀
❀ 10/24、11/11 午前11時~は、職員による植物うんちく語りを実施します ❀